

外観



看護小規模多機能つむぎ

新築工事

群馬県高崎市 21年4月竣工  
 施主 はるな生活協同組合  
 施工 タルヤ建設株式会社  
 木造地上1階建

「住み慣れた家で自分らしく暮らし続けたい」をモットーに、通い、泊まり、訪問(看護・介護)のサービスを提供し、高齢者の自宅生活をサポートする施設です。建物全体をコンパクトに納める必要があったため、木造平屋建てとし、天井の高い広間(居間・食堂)を中心に9つの宿泊室を取り囲む平面計画としました。デイサービスとなる昼間は宿泊室の障子を開放し、居間・食堂と一体で使えるようにしています。  
 (細見・神崎)

食堂・居間



地域交流室



訪問看護事務所



外観正門



洛西花園幼稚園

増改修工事

京都府京都市 21年8月竣工  
 施主 学校法人花園学園  
 施工 株式会社岡野組  
 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、木造地上2階建

40年前に建てられた幼稚園の増改修工事です。園内で給食を作るために新たに給食室と搬送用ダムウエーターを設置し、預かり保育(通称…なむなむ)のための保育室・トイレと倉庫を増築しました。

保育室



併せて正門前の整備と遊戯室の外壁等の改修を行いました。  
 (若林・伊達)

2021年も一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を感じる1年となりましたが、ワクチン接種のおかげか秋には感染者数も大幅に減り、終息への希望が少し見えてきたように思います。

世界の状況を鑑みますとまだまだ安心はできない状況ですが、本年も感染症対策を徹底し、皆様のお役に立てるよう鋭意努力してまいります。

新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、本年も何卒よろしく願い申し上げます。

Editors

富永 斉美 Hitomi Tominaga  
 浜口 直子 Naoko Hamaguchi  
 中村 円香 Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083  
 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地  
 TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270

ホームページURL <http://www.kyoto-archi.co.jp/>  
 メールアドレス [info@kyoto-archi.co.jp](mailto:info@kyoto-archi.co.jp)



とれみとは、ラテン語の「tres (3)」と日本語の「笑み」とれみとは、ラテン語の「tres (3)」と日本語の「笑み」一施主、施工者、設計者一三者の笑みを表しています。





## すみれ病院

新築工事

大阪府大阪市 21年9月竣工  
 施主 社会福祉法人大阪福祉事業財団  
 施工 松井建設株式会社  
 鉄骨造地上3階建

3施設を現地改築するプロジェクトのうち、城東老人ホーム、すみれ保育園は2020年3月に竣工していましたが、この度最後の1施設であるすみれ病院が竣工しました。

旧病院からロビーやスタッフスペースなど各所スペースを拡張し、病棟からアクセスできる屋上デッキなどを設けアメニティの向上を図りました。内装では「森」をイメージした木目や緑の配色を行い、すみれ色を各所に配置したデザインとなっています。

現在外構工事中ですが、広々とした広場や中庭などを整備し、利用者やスタッフが安らぐ豊かな空間を目指しています。(若林・山根)



移転新築工事竣工に引き続き、既存棟の耐震補強及び改修工事を行い、病棟と事務部門を整備しました。1病棟28床を稼働させながらの工事であったため、工期を2期に分けるとともに鋼管コッター工法による低騒音低振動の工法を選定しました。(細見・山崎・金重)

## 徳島健康生病院 別館 (旧東館)

耐震改修工事

徳島県徳島市 21年7月竣工  
 施主 徳島健康生生活協同組合  
 施工 株式会社合田工務店  
 鉄筋コンクリート造  
 地下1階地上6階建

## 【特集】 株式会社前田組 本社社屋

株式会社前田組  
本社社屋

鹿児島県鹿児島市 19年8月竣工  
 施主 株式会社前田組  
 施工 株式会社前田組  
 鉄骨造地上4階建



外観

鹿児島市の中心地、城山のふもと、緑豊かな平山公園に隣接する環境の良い場所に立地する、鹿児島市に本社のある建設会社の新社屋です。

外観は、この地域に江戸期、鹿児島城下で屋敷が立ち並んでいた歴史や、緑豊かな公園と調和し、会社のブランド力を高められるデザインを目指しました。外観を印象づける杉板の下見板張り軒天の羽目板、それらの木目を引き立てるシンプルな黒色の対比と、水平ラインを強調するバルコニーが外観の特徴となっています。

建物内部は、社員間のコミュニケーションの活性化と、情報共有を促進するため、部門間の仕切りを無くし、全部署を2階のワンフロアにおさめることで、意思疎通を促し一体感を生み出すようにしました。建物の断熱性能の向上とともに、バルコニーによる日射制御や、開口部にはLow-eガラスを用いるなど高断熱省エネルギーに配慮しつつ、自然採光、自然換気を積極的に活用したエコオフィスとしています。また、災害時に地域への災害支援が迅速に行えるように、建物の耐震性能の向上を図るとともに、非常時の電源確保に対応できる設計としています。

内装にはオフィス内部の床や壁の一部に木材や大谷石を使用し、建物全体に自然素材を用い親しみやすくあたたかみのある空間を目指しています。また、正面、公園側に面したホールや階段室からは、大きなガラス開口部により、内部空間に公園の眺望を取り込むなど、外部と一体感のあるデザインとしています。(川下・森下・中村)

エントランスホール



ホール



会長室



営業室



会議室



社長室



## voice

片側二車線の国道から入ってすぐのこの土地は思いのほか静かで、正面の緑あふれる公園は日々の疲れを癒してくれます。敷地内の西側に立つ柿の木も市街地では珍しく弊社のシンボルツリーとなっており、実から実へと小さく飛び回るメジロの姿は心が洗われます。

昭和49年から約45年間、旧社屋は賢資をすることなく必要最低限の機能のみを備えた古き良き社屋でした。老朽化からの建て替えに際しては時代に即した建物を、そして近隣に溶け込むような社屋を目指し、京都建築事務所様のお知恵をお借りしました。建築の請負を生業とする身として、施主側にならうとはゆめゆめ思わず、慣れない作業ではありませんでしたが、スタッフの皆様とやり取りをした日々は何事にも代えがたく、モノづくりの楽しさを改めて感じたいでした。

竣工から2年以上が経過しましたが、新社屋で送る日々はとても快適で、木の香りと温もりに包まれております。旧社屋で3階6部屋に分かれていた各部署はワンフロアにまとまり、お互いの意思疎通が図られ作業効率も上がりました。たわいもない会話からは自然と笑顔が溢れ、以前にも増して明るい職場になったと思います。

京都建築事務所の皆様には改めて衷心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(代表取締役専務 前田 忠倫 様)